

9 月 24 日：大型株が指数を牽引

流動性は低下したが、ホーチミン取引所の VN 指数は上昇して取引を終えた。いくつかの大型株が指数を牽引した。

VN 指数は直近 2 営業日で 11 ポイントほど下落していたが、反発し 990 ポイントに近づいた。いくつかの銀行株とビナミルク (VNM) が指数を押し上げた。

流動性は低下したことが示すように、支持材料に欠ける中で投資家は注意深く行動しているようであった。

170 銘柄の下落に対し 144 銘柄が上昇した。VN 指数は 0.24% (2.38 ポイント) 上昇し 988.13 ポイントで取引を終えた。

出来高は 20.5%減少し 1 億 6500 万株、売買代金は 4.08 兆ドンであった。

出来高 1 位は FLC ファロス建設 (ROS) で 1740 万株が取引された。第 2 位は FLC グループ (FLC) は 490 万株が取引された。

ベトコムバンク (VCB) と VNM がそれぞれ 2.03%と 1.93%上昇し 80600 ドンと 126900 ドンで取引を終えた。ビンググループ (VIC) とビンコムリテール (VRE) も指数に貢献した。

乳製品の輸入品に対する関税を据え置いたことで、VNM の株価は上昇した。米国は同国への乳製品輸出を増加させる目的で輸入関税の撤廃を求めている。

大引け間際には利益確定圧力がいくつかの銘柄に広がった。サイゴンビールアルコール飲料総公社 (SAB)、ベトナム投資開発銀行 (BID)、テクコムバンク (TCB)、ベティンバンク (CTG)、ペトロリメックス (PLX) などが売られた。

ハノイ取引所では、アジアコマーシャル銀行 (ACB)、サイゴンハノイ銀行 (SHB)、ビコストーン (VCS)、ペトロベトナムテクニカルサービス (PVS) などは下落して取引を終えた。結果として、HNX 指数は 0.36%下落し 104.01 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2400 万株で売買代金は 3110 億ドンであった。それぞれ 21%と 12.3%下落した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。